

ともだち



人と人との出会いを大切に
笑顔の輪を広げましょう

たかさき し こくさいこうりゅうきょうかいかいほうだい 110号
高崎市国際交流協会会報第110号

2023.6

◆トピックス(2023年3月～5月)

■世界一周クイズ大会

3月21日、オンラインでクイズ大会が行われ、イギリス、アメリカ、カナダ、ミャンマー出身者が自国と日本(高崎)の生活を比べて作ったクイズに、市内の小中学生6人が挑戦しました。クイズは学校、交通、食事、行事のカテゴリから一問ずつ出され、子どもたちは答えとその理由を考えることで多文化理解を深めました。また、積極的にクイズに答えたり、質問したりした子どもにはゲストから賞が贈られました。(青少年育成部会)

を広げると大きな歓声があがりました。外国人参加者からは「言葉をあまり必要としない、ストレスの少ない方法で、日本人と本当に交流する機会を得ることができた」「内容が新しく魅力的で、幅広い年齢層に適したアクティビティだった」と好評でした。



(事業部会)

■令和5年度総会

5月24日、高崎市総合保健センター第4会議室において総会が開催されました。令和4年度の事業報告・決算、令和5年度の事業計画・予算が審議され承認されました。串田会長からは「今年度はコロナ前の通常の活動に戻りつつある。引き続き地域に根ざした多文化共生事業を地道に実施し、誰もが安心して暮らせるように活動の充実を図っていきたい」と挨拶がありました。



【令和4年度決算額 11,817,428円】

【令和5年度予算額 15,518,000円】 (事務局)

質問:
英語を学ぶのは
国語と同じくらい大事

小6年生の英語教科書

答え:
ミャンマー

ミャンマーでは高校からほぼ全ての教科書は英語なので、英語がわからないと勉強もできない。一方、高崎では小学1年から「外国語活動」として楽しく英語を学ぶ。

■藍染交流イベント

3月26日、高崎市染料植物園で、藍染体験を楽しむ交流事業が行われ、外国人7人、日本人4人が参加しました。参加者は園スタッフの指導のもとバンダナやハンカチを思い思いのデザインに染め、最後に作品

◆おしらせ(2023年7月)

■COOL TAKASAKI発信事業～和菓子作り体験～

●日時=7月8日(土曜日)午前10時～12時 ●場所=ソシアス(足門町) ●内容=微笑庵店主・宮澤啓さんから季節の和菓子の作り方を習う ●対象=市内在住・在勤外国人 ●定員=20人(先着) ●費用=2000円 ●申込=6月30日(金曜日)までに、名前(ふりがな)、国籍、住所、電話番号をメールで事務局へ

■第7回国際親子交流会

●日時=7月9日(日曜日)午前10時～12時 ●場所=中央公民館(末広町) ●内容=親子で一緒に楽しめるゲームやクラフトをしながら交流する ●対象=1.外国人と日本人のカップルとその子ども 2.外国人カップルとその子ども 3.海外に長期滞在していた日本人カップルとその子ども(帰国子女) 4.国際交流を望む日本人親子 ●定員=50人(先着) ●費用=1家庭300円 ●申込=6月30日(金曜日)までに電話かメールで事務局へ

行ってみよう!

外国にゆかりのあるところ in たかさき

高崎市内の外国にゆかりのある場所やそれにまつわる人を紹介します。

第1回 しまいとしこうえん 姉妹都市公園



姉妹都市公園は、1990年（市制90周年）の姉妹都市サミット（第1回高崎サミット）が行われたのを記念して作られました。公園内には「Sister City Park」という碑があり、公園建設の経緯が書かれています。この場所は江戸時代の高崎城「子(ね)の門」に近く、武家屋敷があったこと、昭和時代はテニスコートとして親しまれていたことなどを知ることができます。

姉妹都市公園を含む「高崎城址地区」は1998年10月5日「都市景観100選」として当時の建設大臣より

表彰されています。

堀に囲まれた静かな公園で、遊具はありませんが、散歩や赤ちゃん連れに最適です。また、藤棚の下にはベンチもあり、一休みすることも出来ます。柳橋から見る石橋のアーチには1画目のない「鬼」の字が刻まれています。探してみてください。

高崎市は1981年7月1日にシリアル会社の子会社が高崎にあることからアメリカバトルクリーク市と、同年10月2日に群馬県がブラジルサンパウロ州と姉妹州提携をしていたのでその第2の都市同士のサント

アンドレ市と姉妹都市提携をしました。また、1987年10月6日には中国の承德市と相互の友好団の訪問をきっかけに友好都市の締結をし、1990年10月6日にはチェコのプルゼニ市と市内にあるビール会社を通じて姉妹都市提携をしました。2006年10月28日には旧群馬町の姉妹都市であるフィリピンのモンテルパ市との提携を引き継ぎました。

園内には、モンテルパ市を除く各姉妹都市の樹木、バトルクリーク市・サトウカエデ（現在は倒木の恐れがあるため伐採）、サントアンドレ



1990年第1回姉妹都市サミットで各市の代表が記念植樹をする様子。



公園の入り口横にある「Sister City Park」の碑。公園建設の経緯が記されています。



植樹された樹の現在の姿。左からサントアンドレ市・タイサンボク、プルゼニ市・リンデン、承德市・エンジュ。それぞれ大きく成長しました。根もとには各姉妹都市の案内が記されたプレートが設置されています。



柳橋から見た石造アーチ橋。石だけで作られたものは、長崎の眼鏡橋など九州に多く見られ、関東地方ではあまり見受けられないようです。

市・タイサンボク、承德市・エンジュ、プルゼニ市・リンデン(セイヨウボダイジュ)が植樹されています。大きく成長したそれらゆかりの木々と四季折々の草花が落ち着いた雰囲気を醸し出しています。

公園内にはイベント利用を考慮した芝生広場があり、かつては、高崎まつりやスプリングフェスティバルの会場として、高崎市国際交流協会も「国際交流の集い」の会場として使用しました。(広報宣伝部会)

■ 姉妹都市公園 ■
 住所: 高崎市高松町4番地
 入場無料
 園内にトイレあり
 地下に高松駐車場(有料)あり

高崎の姉妹友好都市

バトルクリーク市

アメリカのミシガン州南部にあるヒューロン湖・ミシガン湖・エリー湖に囲まれた人口5.2万人の都市で、シリアルをはじめ、機械・鉄鋼・運輸などの産業と恵まれた自然が調和しています。市立劇場・美術館・博物館など数多くの施設があり、交響楽団もある文化都市です。

サントアンドレ市

ブラジルのサンパウロ州の東南部にある人口72万人の自動車産業が盛んな工業都市です。中心市街地は都市計画が進み、高層ビルが立ち並んでいます。また、約2万人の日系人が各方面で活躍しています。

承德市

中国の河北省東北部、北京から250kmのところであり、面積は約4万平方km(高崎の87倍)・人口は330万人(同9倍)です。海拔320mの夏涼しい気候で、世界文化遺産の「避暑山荘」や「外八廟」があります。観光業とともに、豊富な鉱物資源を利用し、工業も発展しています。

プルゼニ市

チェコの第4の都市で人口は17万人、プラハの南西88kmのところにあります。ゴシック風の聖バルトロミイ寺院やルネサンス様式の市庁舎などの歴史的建造物、世界無形遺産に登録されたビールが有名です。

モンテルパ市

フィリピン・ルソン島の南にあり、マニラ近郊の人口54万人の都市です。太平洋戦争の激戦地でしたが、近年はIT企業の進出が多く、ビジネスセンターとして注目されています。

